

教育支援のためのFDワークショップ(第5回) ～授業デザインワークショップ③～

授業をデザインしていくにあたり、さまざまな工夫を取り入れている学内外の授業事例について紹介し、それらの事例に学び、互いに授業内容を高めていくための意見交換をする場として、授業デザインワークショップを開催いたします。今回は初年次教育検討委員会との共催といたします。

第3回目の今回は、理学研究科の植松千代美先生と大学教育研究センターの渡邊席子先生を事例提供者に、学部横断型の初年次教育科目について検討したいと思います。みなさまには、お忙しいなかではありますが、ふるってご参加ください。

授業デザインワークショップ③:学部横断型で実施する初年次教育科目について

日本の大学で行われている初年次教育には、学部・学科ごとに実施されるものと学部横断型で実施されるものがあります。それぞれ目的が異なるのですが、現実には、両者の目的やあり方が明確に区別されずに実施されていることもあるようです。また昨今では、数年前にアメリカから紹介されたサウスカロライナを中心に展開されている「初年次教育(FYE)」とは異なる、海外の様々な実践も紹介されるようになってきており、初年次教育のあり方を、改めて考え直す時期に来ているとも言えます。大阪市立大学でも、全学共通教育で1回生セミナーが開始されて3年がたちました。この機会に、学部横断型で実施する初年次教育科目の目的と方法、内容について、これまでの実践を振り返りつつ、新しい方向性も含めて、改めて議論したいと思います。

事例提供者 : 植松 千代美(理学研究科)
渡邊 席子(大学教育研究センター)

日時 : 2007年7月6日(金曜) 13:00~14:30

場所 : 全学共通教育棟 81B室

コーディネーター : 西垣 順子(大学教育研究センター)

※なお、会場準備の都合上、ご参加いただける場合は、7月2日(月曜)までに、大学教育研究センター(center@rdhe.osaka-cu.ac.jp)までご連絡ください。

以上

大学教育研究センター
(共催:初年次教育検討委員会)